



2026年9月24日
首都高技術株式会社
シャープ株式会社

道路点検の担い手不足を見据え
走行中に自動で損傷などを検知するシステムの実証実験を開始

首都高技術株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：加古 聡一郎、以下、首都高技術）およびシャープ株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長 CEO：河村 哲治、以下、シャープ）は、道路を撮影した映像から、落下物や舗装穴（ポットホール）などの損傷をリアルタイムに自動で検知・通知する「リアルタイム道路損傷自動検知システム」の実証実験を2026年10月より開始します。

走行車両の安全を確保するためには、道路上の落下物や舗装穴（ポットホール）などの損傷を、早期に発見し迅速に対応することが重要です。現在、これらの損傷などはパトロール車両に乗車した点検調査員が目視で確認していますが、将来的な担い手不足を見据え、点検の高度化・効率化（自動化）が強く求められています。これに対し、両社は、首都高技術が有する道路管理に関するノウハウと、シャープが有する AI および画像処理の技術を融合し、高速道路の巡回点検を自動化する取り組みである「リアルタイム道路損傷自動検知システム」の開発推進により、巡回点検支援システム『[インフラパトロール \(InfraPatrol®\)](#)』の更なる機能向上を目指します。

本実証実験の詳細は別添資料をご参照ください。

[【別添資料】道路点検の担い手不足を見据え](#)

[走行中に自動で損傷などを検知するシステムの実証実験を開始.pdf](#)

本件に関するお問い合わせ先

首都高技術株式会社 経営企画部 企画課 TEL：03-3578-5757

シャープ株式会社 広報部 TEL：050-5213-6795